

様式 F - 7 - 1

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成24年度）

1. 機関番号

3	2	6	9	2
---	---	---	---	---

 2. 研究機関名 東京工科大学

3. 研究種目名 基盤研究(C) 4. 補助事業期間 平成23年度～平成25年度

5. 課題番号

2	3	5	9	3	2	6	8
---	---	---	---	---	---	---	---

6. 研究課題 外傷性脳損傷患者の家族介護者に対するWebを用いた遠隔支援・適宜支援方略の構築

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
2 0 1 9 0 6 2 1	イシカワ フミヨ 石川 ふみよ	医療保健学部	教授

8. 研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
2 0 1 5 2 4 3 1	オクミヤ アキコ 奥宮 暁子	医療保健学部	教授
4 0 5 5 0 4 9 7	ヤマモト カヨコ 山本 佳代子	医療保健学部	助教
8 0 4 3 6 4 5 1	コマン タイキ 小松 泰喜	医療保健学部	教授
7 0 6 1 3 2 7 2	セオ マサエ 瀬尾 昌枝	医療保健学部	助手

9. 研究実績の概要

本研究は外傷性脳損傷患者を介護する家族の心理社会的適応を促進するために、Webを用いた遠隔支援・適宜支援方略を構築すること、その支援方略の効果を明らかにすることを目的としている。平成24年度は以下のとおり実施した。

1. 平成23年度に構築したコンテンツを北海道および佐賀県の高次脳機能障害当事者・家族会の会員にみてもらい、デザイン、配色、文字の大きさ、文章の表現など指摘された点について追加・修正を行った。また、本学デザイン学部の学生の協力を得て、親しみやすいイラストを作成し、挿入した。

2. サイトのコンテンツの1つである外傷性脳損傷患者に実施してもらおうワークシート（ドリル）の作成に着手した。国内および海外の資料を参考に、研究者が考案したものを高次脳機能障害当事者・家族会の会員にみてもらい、難易度、出題の順番等の課題を明らかにした。それに基づき、出題の修正を行った。また、ワークシート（ドリル）に取り組んだ成果を当事者・家族にフィードバックするシステムの構築に着手した。

3. サイト作成に関して、韓国で行われた国際学会で発表した。

4. 北海道および佐賀県の高次脳機能障害当事者・家族会より、上記取り組みに関する講演の依頼を受け、実施した。その結果、当事者・家族会の活動、参加者の状況、社会的な認知度は、地方によって異なっていることが明らかとなり、Webを用いて高次脳機能障害とその対応方法等に関する一定水準の知識の提供は極めて重要であることを再確認した。

10. キーワード

(1) 外傷性脳損傷	(2) 高次脳機能障害	(3) 家族介護者	(4) Web
(5) 遠隔支援	(6) 適宜支援	(7)	(8)

11. 現在までの達成度

(区分)(3) やや遅れている。

(理由)

平成24年度には外傷性脳損傷患者を介護する家族に、Webサイトにアクセスしてもらい、実際の運用を行う予定であったが、ワークシート(ドリル)の結果をフィードバックする新しいシステム構築に時間を要したため。

12. 今後の研究の推進方策 等

(今後の推進方策)

平成25年度の計画は以下のとおりである。

1. 北海道および都内の高次脳機能障害当事者・家族会の会員にWebを利用する際の環境について調査を行う。
2. 7月までにサイトの完成を図る。
3. 半年間、実際にサイトを利用してもらう。
4. 利用結果の評価を行う。

(次年度の研究費の使用計画)

平成24年度は7万円弱の残金を生じた。高次脳機能障害当事者・家族会の会員からWebサイトについて助言を得るにあたり、謝金辞退の申し出があったため、謝金が発生しなかったことによる。

平成25年度の使用計画は以下の通りである。サーバ運営・管理費が当初の予定より高額となっているため、研究費の大部分をそれに充当する。

1. サーバの運営・管理費：600,000
2. 報告書の作成：100,000
3. 事務用品等

13.研究発表(平成24年度の研究成果)

〔雑誌論文〕計(0)件 うち査読付論文 計(0)件

著者名		論文標題			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)					

〔学会発表〕計(3)件 うち招待講演 計(2)件

発表者名		発表標題		
小松泰喜、石川ふみよ、奥宮暁子、山本佳代子、瀬尾昌枝		Construction of appropriate support and remote support strategy with Web site for the family caregiver.		
学会等名	発表年月日	発表場所		
The 22nd RI (Rehabilitation International) World Congress	2012年10月29日～2012年11月02日	Songdo Convensia (Incheon, Republic of Korea)		

発表者名		発表標題		
石川ふみよ		高次脳機能障害者の家族に対する支援について		
学会等名	発表年月日	発表場所		
脳外傷友の会「コロボックル」講演会(招待講演)	2012年04月11日	札幌市社会総合福祉センター(北海道)		

発表者名		発表標題		
石川ふみよ		高次脳機能障害者の家族支援について		
学会等名	発表年月日	発表場所		
第7回アステラス製薬患者会支援活動資金助成講演(招待講演)	2012年11月23日	佐賀大学医学部(佐賀県)		

(図書) 計(0)件

著者名	出版社			
書名			発行年	総ページ数

14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

(出願) 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

(取得) 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

15. 備考

--